

ロータリーを
実践し



みんなに
豊かな人生を

2013~2014年度 国際ロータリーのテーマ
ロン D.バートン

RI第2510地区 留萌ロータリークラブ

会報

2013 ▶ 2014
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ 会長目標 **集中と調和**

会長/中出敏彦 幹事/大嶋孝広

プログラム

- 本日
夜間例会「年忘れ家族会」
- 次週予定
来賓卓話「留萌地方特別支援学級
南部ブロックの活動報告について」
南部ブロック委員長 北光中学校校長 木下 裕二様
南部ブロック長 北光中学校教諭 工藤 笑様

配偶者誕生日
12月16日 森 裕子
17日 渡部久美子

結婚記念日
12月12日 山本 譲二

No. 2585
第22回 12月11日

出席報告

前
例
会

会員総数	39名
出免会員	8名
出免出席	4名
基準会員出席	21名
出席率	73.52%

前
々
会

第19回 11月20日

欠席会員	10名
内メイクアップ	4名
修正出席率	88.23%

例会/毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F



会長報告

1. 大嶋幹事がポールハリスフェローになりました。おめでとうございます。
2. 高田親睦活動委員長さんが今週の土曜日、文化センターにて小平会のカラオケ大会に出場いたします。午後6時からですので、会員の皆様で都合のつく方は応援に行ってください。

- 国際ロータリー年次大会(シドニー大会)参加旅行募集案内が届いております。回覧します。
- 留特連南部ブロック特別支援学級合同学習会発表会のお礼が届いております。回覧します。
- そらぶちキッズキャンプ年次活動報告書が届いておりますので回覧します。

ゲスト

留萌市都市環境部都市整備課

課長補佐 前田 和宏様
土木第2係長 湯浅 俊幸様



幹事報告

- 深川RCより会報No.2645~2647号及び12月例会案内を受領しました。
- 芦別RCより会報No.2711~2714号を受領しました。
- 国際ロータリー第2510地区よりSAKUJI作戦の推進案内が届いております。



委員会報告

社会奉仕委員会

堀委員長

12月22日(日)午前9時より、新世代事業として「平成25年留萌ロータリークラブ少女女剣

道練成会」を留萌勤労者体育センターにて開催します。詳細は後日皆様にお知らせいたします。

国際奉仕委員会 燕委員長

第2510地区ガバナー事務所より今回のフィリピン台風災害の義援金のお願いが来ております。只今より各テーブルに募金箱を持ってまわりますので、ご協力をお願いします。

親睦活動委員会 高田委員長

来週の例会は恒例の年忘れ家族会です。場所はこの産業会館ですが、午後6時30分の開催になります。現在60数名の参加が見込まれていますが、副委員長始め委員会にて皆様をお迎えすべく企画を考えております。企画倒れになるかもしれませんが、出し物は留萌の演歌の歌姫2人による歌謡ショーとなっております。ぜひお楽しみに。

次年度理事会 森(俊)会長エレクト

12月17日(火)に第1回被選理事会を、沿岸バス事務所2階会議室にて開催いたします。次年度理事役員に指名された皆様、よろしく申し上げます。後ほど西谷次年度幹事より連絡があると思います。

3分間情報……………

会員研修委員会 阿部委員長

先週の3分間情報で、未来の夢計画の話をしました。補助金プログラムが大きく変わる中で、重要な役割を担うことになるV T T、日本語でいう職業研修チームについて、お話ししたいと思います。

1965年から約50年も続いてきた研究グループ交換G S Eという制度にはなじみがあると思いますが、V T Tはその次世代プログラムとして誕生し、より世界社会貢献度の高いプログラムになりました。チーム・メンバーは、受入国の制度や生活様式を観察し、他国における自分と同じ職業の実践の様子を理解し、個人的かつ職業上の関係を育み、意見等を交換し合いながら

研修します。

G S Eと異なることをいくつか挙げると、①メンバーの年齢制限がありません。G S Eでは25-40歳という制限があり、若手育成という側面がありましたが、制限がなくなりました。②期間も決められておりません。プロジェクトの提唱者が目標を設定する際、必要な時間をきめることが認められております。③メンバー数の上限はありません。制限を取り払って、より目的達成を第一義に考えられるようなチームづくりをする為だと思います。④「交換」ではないので、受入だけでも、派遣だけでも構いません。⑤G S Eではチームリーダーはロータリアンである必要がありましたが、グローバル補助金で支援しているV T Tでは財団が事情を認めた場合、チームリーダーがロータリアンである必要もありません。

このように、可能な限り制限事項を排除して、メンバーの職業スキルや職業知識を利用して、より直接的に奉仕に参加する機会を提供しているのがV T Tです。

新しく設置された補助金、地区補助金、グローバル補助金、パッケージグラントのどれでもV T Tを支援することが可能です。これも変わったポイントです。資格要件、チームの構成、予算は補助金の種類によって設定されております。

地区補助金によるV T Tは、親善と平和推進、健康状態の改善、教育の支援を要件としております。G S Eのようにグループ交換することも可能で、これまでのG S Eに近い活用が出来ます。

グローバル補助金によるV T Tは6重要分野の1つ以上に関連していることが要件で、チームメンバーや地域社会の人々のスキルを高め、持続可能・測定可能な成果をもたらす事が目的となります。異なる2つの地区、クラブが提唱者である必要があります。予算は米ドルで最低30000\$です。

パッケージグラントによるV T Tは戦略パートナーがロータリーの重点分野のいずれかに関連する活動を立案。持続可能な成果をもたらす

為、現地の専門職業人による協力を手配するという形で行われ、予算はロータリー財団と戦略パートナーが全費用を賄います。

ニコニコBOX.....

- ポールハリスフェローになりました。少しだけロータリアンに近づきました。 **大嶋幹事**
- 今週の土曜日小平会のステージに登場させていただきます。 **高田会員**
- 新聞に載りました。ありがとうございます。 **燕会員**
- FMもえるに初めて出演してきました。 **堀会員**
- 帰って参りました。 **明澤会員**
- お帰りなさい。 **森(俊)会員**
- 会報に一部掲載ミスがありました。 **会報委員会**

前 回	442,600円
今 回	11,000円
累 計	453,600円

プログラム.....

「留萌市の除雪計画」

留萌市都市環境部都市整備課
課長補佐 **前田 和宏 様**

本日はお招き戴き誠にありがとうございます。留萌市都市整備課の前田でございます。本日は今年の除排雪計画について、少しお話をさせていただきます。皆様にお配りした資料に基づき、お話をさせていただきます。



近年の気象状況及び運搬排雪量の推移ですが、降雪量においては平成18年度から多少は増えておりますが、ほぼ横ばいで推移しており、平成21年度、22年度、24年度が若干多く、7m位でございます。ただ最深積雪で見ますと、平成18

年度40cmから平成21年度は82cm、平成22年度は122cm、平成24年度では154cmと右肩上がりが増えております。さらに積雪50cm以上の日数で見ると、平成21年度まではそんなに日数が多くなく、28日位だったものが、平成22年度からの3年間を見ますと、90日、109日、107日とほとんど冬季間50cm以上の積雪がある日が続いています。これらは気温の影響が大きいのですが、近年ICPPでも地球温暖化の影響は間違いないと言っておりますが、それとは反して留萌に関しては冬季間は低温化が続き、雪が降っても融けなくて降り積もっている日が続いております。それに比例して運搬排雪量も、近年30万m³だったものが平成24度は65万m³と2倍以上の運搬排雪量になっております。

それでは今年の冬の予報はどうかかなと申しますと、11月25日に3ヶ月の予報が出されました。12月から2月の3ヶ月間ですが、それによりますと平年並みか多いとの予報で、少ないが20%、平年並みが40%、多いが40%の予報でございます。気温につきましても、12月はほぼ平年並みの予報で、1月2月は平年並みか低い見込みで、昨年と同じ様な傾向が続くとの予報でございます。特にフィリピンの台風がございましたが、これは太平洋の西部側で海水温が高く、台風が弱くならないと言う事で、この高い海水温から上昇した気流が中国の方に下降してきて、これが北に伸びる分だけ偏西風が蛇行して、中国の近辺では北側に偏西風、それから東側にある日本海側は偏西風が南側に蛇行する関係で北側の寒気が入りやすいという状況で、今年もやはり雪が多くなる傾向ではないかと思われれます。

今年25年度の除雪計画についてですが、除雪計画の概念は、市民の皆さまが安全で安心な冬を過ごせるように、効率的で効果的な除排雪による公共サービスを提供する事を目指しております。近年の多雪傾向の中で、保有機械の老朽化や除排雪従事者の高齢化による事業者の減少が続いておりますが、公的な道路管理を民間の皆さんの経験と技術的能力を十分に活用しながらパートナーシップにより克服していきたいと

第21回 12月4日(水) 天候/曇

考えております。平成25年度の除排雪延長ですが、車道除雪延長が大和田まで112.6km、その他郊外が37.5km、合わせて150.1kmを除雪延長としております。歩道除雪の延長につきましては、市街地が30.4kmです。排雪計画延長では市街地で109.1km、郊外0.8km、合わせて109.9kmでございます。

除雪出動基準ですが、降雪量がおおむね10cm程度に達した時のほか、強風により路面に吹き溜まりができ、通行に大きな支障が生じた時に出勤いたします。又、わだち及び大雪・降雨・暖気等の異常気象により著しく路面状態が悪化した時や、パトロールなどで発注者が出勤に必要があると認めたときに出勤する基準となっております。

作業時間帯ですが、おおむね午前3時から7時30分までで、通学時間を目安に作業完了をするようにしております。場所によっては雪の降る量なども違いますので、多少時間が変わる場合があります。運搬排雪基準ですが、防災拠点とそれをつなぐ緊急輸送道路を1番とし、主要幹線道路(交通量の多い道路)3~4回程度行い、2車線幅を確保しています。補助幹線道路や生活道路は、道路幅員や路面状況を確認し実施することになっております。

市内のロードヒーティングですが、旧生協の坂で北8条通り、カトリックの坂と言われております北10条通り、それと少し分かりにくいかもしれませんが、市営球場から国道に下りていく通りの開運12号通り、配水場の横にあります沖見幹線通り、ぶるもの向かい側から明元町に向かう短い通りで南5丁目通りがございます。最近特にカトリックの坂のロードヒーティングが不調でございまして、40m位しか出来ませんでしたが、今年から3年間かけて改修作業に入っております。

昨年の大雪で皆さんも雪を捨てるのに困ったと思いますが、大和田の行き捨て場が非常に国道部分で混雑したと言う事がございました。それを受けまして、年明けの1月16日に沖見町のゴールデンビーチの中央北駐車場を雪捨て場として開放致しました。それにより非常に流れが

良くなりましたので、今シーズンもここを開放して雪捨て場として利用いたします。開放時間は、午前6時から午後6時30分までです。元旦はお休みで、12月31日、1月2、3日は午前6時から12時となっております。受け入れ容量や搬入路の状況により開設期間が短縮されることがありますので、ご注意ください。

最後にダンプトラック・融雪機の無料貸し出し制度についてでございます。主に町内会が主体となり、自主的に町内会の市道・私道(生活道路)の排雪を実施する時に、市が指定した業者のダンプトラックを無料で貸し出す制度でございます。昨年度は積雪も大変多かったので、利用件数は15件となり、20年度は4件だったのでだんだんと多くなってきています。ちなみにダンプトラックは運転手付きですが、排雪に使用するショベルカーの使用料は申請者でお支払い願います。ショベルカーにつきましては要量があれば市でも業者を紹介いたしますが、費用については業者さんと交渉してください。相場としては1時間2万円位で、現地の状況にもよりますが、幅員3~4mで延長50mでは3~4時間位かかり、6~8万円位になると思います。小型ショベルもありますので、費用と共に業者に相談してください。基本は町内会ですが、3件以上の方が集まれば貸し出します。また、融雪機貸し出し制度ですが、町内会に移動式融雪機を貸し出します。燃料は町内会等で負担願います。申し込みは留萌市役所都市整備課、電話42-2010です。

雪対策につきましては、重要な冬季間の生活基盤になることを私どもも重々承知しておりますので、行政と地域の方々と各種事業所と連携いたしまして、共同の除排雪の理解と支援の促進を更に強化した上で、冬に強い地域創りを目指しながら、皆様のご協力をいただき、この冬を乗り切って参りたいと考えておりますので、今後ともご理解ご協力をよろしく願います。

以上、本日は貴重な時間を使わせていただきありがとうございました。